

令和 8 年度 眉山活性化委員会（第 1 回）

議事録（要約）

開催日時 令和 8 年 5 月 2 2 日（金） 午前 1 0 時から

開催場所 徳島市役所 8 階 庁議室

議 事 (1) 開会

(2) 副市長挨拶

(3) サウンディング型市場調査について

(4) 令和 8 年度眉山未来プロジェクトについて

出席者・委員 8 名（山中会長、瀬尾副会長、青木委員、柏原委員、近藤委員、出口委員、
内藤委員、渡辺委員）

・事務局他

【会議の内容】

(3) サウンディング型市場調査について

（会長）

今回サウンディング型市場調査を実施したとのことだが、事業者によって、一般的にここでこういったことができるという提案と、自らがやりたいという提案が混在していると思うが、その点は区別されているのか。

（事務局）

今回のサウンディングでは、営業の延長上の提案や具体的な参入に合わせた提案など、幅広く様々な提案を募ったこともあり事業者ごとの特徴の差がみられた。他都市で官民連携を行っている事業者や公園施設メーカーとして参加している事業者等に参加していただいた。サウンディングに参加していただいた事業者とは今後も対話していくつもりである。

（委員）

サウンディング型市場調査に参加した 11 社の事業者は、ハード整備を主とする事業者だけなのか。それとも、サービス提供を行うソフト事業者も参加したのか。

（事務局）

事業者の中にはハード整備について提案いただいた事業者もある一方、ソフト面に主眼を置き、提案いただいた事業者もいる。

(会長)

有料駐車場の提案もあるが有料化の考えについてお聞きしたい。

(事務局)

有料化について事業者から提案をいただいたが、本市経済部が眉山ロープウェイ山頂駅周辺でLED景観整備事業を行っており、夜間利用が見込まれる中、有料化を行うことにより、不審な行為への抑止力となると伺った。そのような点も踏まえ、検討を進めていきたい。

(副会長)

夜間に公園利用者以外が駐車場を利用するのを防止する意味合いもある。

(会長)

低料金での運営は難しいと思うが、防犯対策の意味合いもあるのか。

(事務局)

おっしゃる通りである。導入については検討を行うつもりである。防災や放置車両への対応など安全面に関して提案をいただいた。本課でそのような視点を持っていなかったため、様々な面から検討を行いたい。

(会長)

最近の駐車場は従来の機械式の料金所ではなく、ナンバープレートを読み取るものがあるが、管理がかなり容易になると思う。

(委員)

眉山公園山頂エリアを4つにわけ、ヒアリングを実施したとのことだがそれぞれのエリアに課題はあると思われる。各提案を眉山公園山頂エリア全体に取り入れた際に、統一感を持ち、導入できるような案であるのか。

(事務局)

サウンディング型市場調査によって聞き取った提案をそのまま取り入れてしまうと、統一感を持たなくなるため、これから選定するコンサルタント事業者と令和8年度末を目途に事業スキームを構築し、各事業者との連携を調整し事業を検討していくつもりである。

(会長)

事業スキームについて調査結果が記載されているがDBO方式と指定管理との混合採算型とはどのような提案か。DBO方式には管理者が含まれているが、そこに管理者をさらに追加するという提案か。

(事務局)

眉山公園は市街地にある公園ではないため、屋内施設の DBO 方式と指定管理者制度を含めた複数の収入源を確保することで採算性のある事業が実施可能ではないかとの提案をいただいた。今年度実施する業務委託の中でどのような方式が眉山にあっていくのか検討していく。現在は指定管理制度で公園を管理しているが、各エリアで運営の方向を変えることも含め、事業者が提案しやすいよう調整できればと思う。

(4)令和 8 年度眉山未来プロジェクトについて

(委員)

眉山未来プロジェクトについて、日常的に事業者が参入する事業とイベント等の短期間的に参入する事業の 2 つのパターンが考えられる。にぎわいイベントに関して、利活用開始時期まで市を主として毎年 1 回イベントを実施していくのか、それとも日常的な利用に関しての公園整備が整えば、イベントの実施数を調整したり、民間の事業者等を中心に運営をしたりする計画は何かあるのか。

(事務局)

今年度のイベントに関しては、ステージイベントを中心に実施したいと考えている。また、その後のイベントの実施については、イベントを実施したいと申し出ている民間事業者も数者おり、それらの事業者イベントの運営を引き受けていただくことも想定している。ただ、今後のサウンディングの中で検証すべき事項があれば、引き続き実証実験としてのイベントを継続していきたいが、最終的には民間事業者に運営をゆだねたいと考えている。

(委員)

びざんミーティングに参加しているが、眉山への思い入れが強いメンバーが多くいる。今後のイベント運営を民間の事業者へ移行していくと述べているが、今までびざんミーティングに参加していただいているメンバーの意見や意向をないがしろにせず、反映できる体制を作っていただきたい。

(事務局)

後日びざんミーティングのメンバーを招集する予定であるが、今後も積極的に関わってくださるびざんミーティングメンバーについては、本課としてもサポートを行っていきたい。参加いただいているメンバーにイベント運営等を実施する団体を立ち上げていただき、イベントを企画する方法も検討できればと考えている。

(会長)

民間のイベント事業者、天体観測の会等様々なグループが存在しているが、それらの愛好家グループは徳島市から業務委託を行わずともイベント企画を実施していただけたらと思う。公園にはそのような団体が重要な要素である。キッチンカーを呼び商業的な取り組みを行えば、調整する費用が相当かかる。集客イベントは現状、市が補助を積極的に行わざるを得ない状態である。現時点では、イベント運営を民間主体で行う段階まで行っていない。それでも引き続き市が補助を行っていくつもりなのか。それとも、眉山での集客事業にメリットを感じた企業が主体的に企画を実施してもらうのか。そのどちらを主的に行うのかが重要になる。ロープウェイ事業を含めた、眉山での事業に対処できる企業でないと運営は困難である。いきなりは難しいと思うが、未来を見据え、どのような事業者を受け入れるのか、考えを明確にすべきだと思う。

(事務局)

昨年度まで経済部はプロジェクトに参加していなかったが、今年度から経済部も参加している。ロープウェイの運営時間や料金については、イベントを実施する中でどのような形態で行うのが最適かを両部で共有していきたい。イベントについては収益の有無が目的の一つだと思われるので、その点を目標に設定し、イベントの実施検討を行っていくつもりである。

(会長)

民間事業者主体の収益型イベントについては、運営が順調に行えるのかを考え、検討していただきたい。

(委員)

山頂部を主としてプロジェクト内で検討をされているが、ロープウェイや車道、登山道といったアクセスが、イベント時に混雑してしまう。来園者がロープウェイではなく車道利用時における、今後の対応案があれば教えていただきたい。また、勢見山や天神社横の登山道で大木が腐ったり、落ち葉が掃除できていなかったりと危険性が見受けられる。今後のプロジェクトを進めるうえで、これらのアクセスに関する意見を頂戴したい。

(事務局)

昨年度に実施した実証実験イベントでも駐車場が埋まった。道路が渋滞してしまう恐れがあるため、イベントによってはバスによるピストン輸送の実施検討を行う必要性を感じている。今年度のステージイベントで最適な方法の検証を行いたい。登山道に関して、勢見山は民地も多く、状況を把握できていない部分もあるが、天神社横の登山道については、市道認定がされているため、管理者に伝え、改善できるよう取り組んでいく。

(会長)

大きなイベントを実施できるかどうかを検証していく必要があると思う。駐車場に頼ったイベントは現実的には難しい。そのため、ロープウェイの利用や歩きでの来場を推奨すべきだと思われる。もし、駐車場利用への懸念があるのであれば、駐車場の利用を禁止にすることもあり得るだろう。最近行われた鳴門の花火大会では、駐車場利用を禁止にしたことで来場者が歩いてきたり、自転車に乗ってきたりしていた。車での来場は推奨しないといった旨の情報発信を行い、イベントを実施すべきだと思う。

(委員)

ロゴマークが新しくなったとのことだが、以前まで使っていたロゴマークと活用目的の違いはあるのか。また、エリアごとに適切な事業スキームを作成している他自治体の事例があれば伺いたい。

(事務局)

プロジェクトロゴについては、昨年度立ち上げた眉山日和のロゴマークから変更はない。このロゴマークを継続して使用していく。また、エリアごとの事業スキームについて、公園全体を一括で整備する DBO 方式や PFI 事業が他都市での事例として多く挙げられる。また、部分的に設置管理許可制度や P-PFI を導入し、その他は指定管理者制度による公園管理を行っている公園も多数ある。今後も他都市の事例を参考に検討を進めていきたい。

(会長)

部分的に整備を行えば、時期をずらすことができ、公園の利用に支障をきたさないような意図を持っていると思われる。事業の統括や調整は市が行う必要があると考えられるのでその点が大変だと思われる。最終的に包括的な管理を指定管理者に任せる形にできれば、個別で事業の実施が可能だと考えられる。サウンディングの実施にあたっては、契約時期の調整の必要性を想定いただき、コーディネーターが全体を包括できればロープウェイの収益をイベント費用にあてることも可能だと思われる。実施検討は難しいと思うが、少なくともロープウェイの収益からスポンサー費を充てられれば総合的に集客ができるだろう。現在の運用では足並みがそろっていないため、眉山全体として利益があがる方針を持っていたきたい。

(事務局)

全体を統括する必要性は十分承知している。この度の委託業務の中でも、コンソーシアムの形成を検討し、一貫性、統一感を持ち、横のつながりを大切にしたい組織づくりを行いたいと考えている。

(会長)

DMC（観光地域づくり旅行会社）のような形態があれば一貫性を持った組織づくりが可能であるだろう。

(委員)

昨年実施された実証実験イベントに関して、アンケートから見えた課題を挙げられ資料に記載されているが、詳細について掘り下げてお聞きしたい。また、カフェや飲食店といったソフト事業についての取り組みは何かあるか。

(事務局)

昨年アンケートを実施し、アンケートから得られた代表的な課題を資料に記載している。そもそもの公園の課題として、駐車場から展望広場への高低差や公園までのアクセス、トイレや設備の老朽化などの問題について意見を多くいただいた。対してグリーンスローモビリティの試験導入は非常に好評をいただいた。カフェや飲食店に興味を示している事業者は多くいるため、民間事業者との対話の中で検討を進めたいと思う。民間事業者としては、継続して収益を確保できるかが課題となっているため、キッチンカー出店の実証実験の中で検証を行い、かつ、眉山公園の魅力を上げていく必要があると感じている。

(委員)

様々な検討を行っているが、ボランティアを活用した事業の推進も大切だと思われる。イベント時に手伝っていただいたり、アドプトのように清掃活動を行っていただいたりすることで、費用を抑えられるといった側面だけではなく、ファンを増やすことにつながると思う。特に県内の大学ではボランティア活動の授業もあり、ボランティアで足を運ぶような機会があれば眉山のファンになってくれると思われるので、ぜひ、ボランティアの活用について検討いただければと思う。

(事務局)

眉山公園の利用者に愛着を持っていただくということは大事な視点だと考えられる。そのため、ボランティアに参加していただくことは、眉山の認知度や愛着度の向上に寄与すると思われる。本市としても、限られた予算の中で効率よく公園管理を行っていく必要性も含め、ボランティアスタッフの参加について検討を進めていきたいと思う。

(会長)

愛好家グループのような団体ができれば、徳島市として団体を認定し、当該団体が活動する際には、時間や場所の調整をコーディネーターが行えれば良いと思われる。そのような団体の支援に市としては積極的ではないかもしれないがハードルを下げ、柔軟対応が認知度や愛着度の向上につながるだろう。

(委員)

徳島商工会議所女性会は毎年、社会貢献の一環で環境・エネルギー問題について小学生に作文を書いてもらっている。今年度は、未来の徳島をタイトルに作文を書いてもらおうと考えている。例えば、眉山の上に遊園地を造る、徳島に新幹線を開通するといった子どもならではの発想を取り入れるべきだと考えている。徳島の未来は小学生など子どもにゆだねるべきであり、そのためには徳島に愛着を持ってもらう必要がある。大切なシンボルである眉山は徳島市の多くの小学生が遠足で愛を運ぶ場所であり、その眉山について、作文を書いてもらえればと思う。今年度の2月に作文表彰を行うが、もし、その作文の中でよい案があれば、共有させていただく。また、去年の活性化委員会で野外ステージの案があったが、それを小学生に伝えたと、好評であった。前回のマチ★アソビでも多くの方が徳島に足を運ばれていたのも、眉山でもイベントを行えば足を運んでくれるのではないかと考えている。

(会長)

徳島市の小学生は遠足で眉山に来ているので、その際にどのようなことを眉山でしたいか、どのような場所が眉山にほしいかを聞くのもよいかもしれない。

(事務局)

小学生に来ていただくことは大変素敵なことであると感じている。観光だけではなく、日常的な公園利用に向けた整備に取り組んでいきたいと考えており、整備をエリアごとに分けているのは、子供たちの日常使いを意図している点もある。眉山にぜひ行きたい、遊びたいと言ってもらえるような整備に取り組んでいきたい。

(会長)

眉山は歴史的な学習ができる場所であるため、眉山から徳島を一望して歴史学習ができるコンテンツができればよいと思われる。徳島の成り立ちなどの教育的コンテンツを教育委員会と相談し、検討いただきたい。

(委員)

広報について SNS を含めて発信力を強化していくとのことだが、外国人対応について、何か実施を予定されているか。

(事務局)

外国人に限定した広報活動は実施できていない。ただ、韓国やその他外国から多くの方が来ているという事実は眉山海月や眉山ロープウェイの利用者を見て、明らかであるため、海外の方にターゲットを絞った広報活動の検討を進めたい。

(会長)

くつろぎ空間の確保という点でベンチの設置やビュースポットの整備を提案しているが、眉山公園にはテラスを取り入れる適当な場所があるのでそのような場所を活用して、ビュースポットのコンペティションを開催し、建築を専門としている学生に提案を出してもらってもよいかと思う。建築士会でコンペティションを行っているし、建築を専門としている高校生もいるので、提案を出してもらえればよいだろう。また、テラス等の寄付を募り、寄付者にはネーミングライツで還元をするのもよいだろう。

(事務局)

学生に眉山への興味を持っていただくことが重要だと考えているので、コンペティションの開催についても検討したい。

(会長)

今年度は継続した取り組みを行うとともに、具体的な整備に向け検討を行っていくという旨は承知した。来年度になれば計画を実行していくとのことであるので、計画の状況について報告いただきたい。